

保護者各位

令和 2 年 4 月 17 日  
一般社団法人 LITTO-LABO  
代表理事 盛永政和

**新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言を受けての対応について〈第 4 版-①〉**  
**(緊急事態宣言解除までの規模縮小営業)**

日頃は当塾に多大なるご理解、ご協力を賜わり感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ご周知の通り緊急事態宣言の対象が 47 都道府県すべてに拡大致しました。既に緊急事態宣言の対象となっていた大阪府や東京都では、営業自粛要請の対象に文教施設が含まれており、その中には学習塾も含まれております。

当塾は学習塾ではないとはいえ、そのフォーマットは学習塾のそれと同様であることから、「学習塾ではないため、通常通りに営業は継続します」という判断は受け入れがたい状況にあると言えます。

一方で、奈良県はまだ営業自粛要請が出ていないこと、当塾の在り方として「子どもたちの居場所」であり、保護者の方々にも「ご相談頂ける場所」として在り続けたいこと、そしてこのような状況だからこそ、教育のみならず心理臨床の専門機関として皆様にご提供できることがあること、という思いから、この度、「緊急事態宣言解除までの規模縮小による営業継続」という決断に至りました。

**「規模縮小」の内容**

月謝の回数制（月謝制ではありません）

- ・ 授業 1 回あたり 4,860 円を頂戴致します。
- ・ 欠席された場合の振替はありません。
- ・ 本制度は 5 月から緊急事態宣言解除までと致します。
- ・ 4 月中に関しては、従来通り月謝制とさせていただきます。尚、4 月分のお月謝を既にお支払いの方は、4 月分のご欠席については振替にて対応致します。

事態が事態だけに、基本的には各々が「ステイホーム」することが大事だと考えています。

「(本人が) どうしても相談したいことがある」場合や、「家にこもりきりなので、たまには外に出たい」というときの選択肢として、教室は開けておこうと思います。

また、各ご家庭におかれましては「生活リズムを維持すること」にご留意ください。生活リズムの乱れは脳の神経系活動の乱れを引き起こします。また、適度な運動も体の健康だけでなく、心(=脳の神経系)の健康にも有効であることが知られています。軽い散歩や家の中でできる体操やエクササイズだけでも構いません。「規則正しい生活」「適度な運動」をして収束を待ちましょう。

保護者各位

令和 2 年 4 月 17 日  
一般社団法人 LITTO-LABO  
代表理事 盛永政和

**新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言を受けての対応について〈第 4 版-②〉**  
**(緊急事態宣言解除までの教室の対応)**

教室では以下の対応にて、お越しになられた方々を受け入れる準備をしております。

- ①入室時には、靴箱の上のアルコール液を必ず手に噴霧してください。
- ②ご家庭で検温の上、37.0℃以上の熱がある場合は欠席して下さい。また、風邪の症状があるや倦怠感がある場合も欠席して下さい。
- ③入室時に「非接触型体温計」にて全員検温致します。
- ④常に換気扇を回し、空気清浄器（プラズマクラスター）を運転しております。
- ⑤裏口は常時開放、教室玄関は 30 分毎に開放し換気致します。
- ⑥トイレのタオルはペーパータオルにしております。
- ⑦授業前中後、CELA※（次亜塩素酸水）を机や椅子、玩具、ドアノブや空気中に噴霧しております。※CELA：〈第 3 版〉添付資料参照。
- ⑧机の配置を変更し、子どもたちの接触を控えるようにしております。
- ⑨授業前のジャンプにつきましても集団ではなく個別で行えるようにしております。
- ⑩保護者の方の見学については、緊急事態宣言が解除されるまで中止とさせていただきます。
- ⑪授業終了後、お車までお送り致しますので、お車でお待ち下さい。ただし、見学を希望される方や私共にお話しがある方はご相談に応じますのでご連絡下さい。
- ⑫スタッフはマスクの着用をしております。

以上、お越し頂いた際にはできる限りの対応を考えております。

基本的にはステイホーム、それでも、ひかり塾は準備しています。

まずは社会の成員として、緊急事態宣言下においてそれぞれが何ができるのかを考えた上で、必要な際には是非ひかり塾を頼って下さい。

保護者各位

令和 2 年 4 月 17 日  
一般社団法人 LITTO-LABO  
代表理事 盛永政和

**新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言を受けての対応について〈第 4 版-③〉**  
**(休塾時の課題について ーよかったこと探しの報告ー)**

学校が休校になり、外出自粛要請が出る中、家でお過ごしが多いことかと思えます。ひかり塾では「よかったこと探しの報告」を多くのクラスで課していますが、経験した出来事を相手に伝わるように話す練習であると同時に、日常における些細なことに気付き、「当たり前を幸せ」と感じられる感性を養って欲しいという願いも込めております(例:ご飯がおいしかった。今日は怪我しなかった等)。

普段であれば学校で起こった出来事や、週末に出かけたときのことを報告することが多い子どもたちですが、家でいる時間が長い中で、いかに「家の中での当たり前」の中からよかったことに気付くことができるかという、非常によい機会ではないかと考えました。

そこで、もしよろしければ、「ひかり塾からの宿題」ということで、週に1度、よかったことをメールかハガキでお知らせ下さい。パソコン入力やハガキを書くことの練習にもなるかと思えます。強制は致しません。

Mail : hikari@hikarijuku.jp

「休みの間だから勉強しよう。」もちろんこれも大事なことだと思います。ただ、学校で教わる教科学習だけが勉強ではありません。もっと広い視点で「学び」という風に捉えて頂くと、題材は身の回りにあふれています。

例えば、「新型コロナウイルス」にしても、「新型コロナウイルスとは何か」、というだけでなく、「ウイルスと細菌の違い」や、「アルコール除菌のアルコールはお酒ではだめなのか」といったことでもいいでしょう。また、インターネット検索するときのキーワードを変えると、出てくる情報に違いがあることに気がきます。「調べたいことに適したキーワードは何か？」を考えることは、ネット社会では非常に重要なスキルに繋がると言えます。

もちろん、家にいる機会にお手伝いを兼ねてお菓子作りや料理作りを始めるのもいいでしょうし、まとまった休みの間にパズルの大作にチャレンジしてみるのもいいでしょう。新しい趣味を始めるチャンスかもしれません。可能性は無限大です。

今回のような非常事態は、決して楽観視できるものではありません。一方で、塞ぎ込んだり、不安や不満を語ったりしても状況は好転しません。子どもたちに対して「よかったこと探し」の提案をしましたが、保護者の方も是非、視点を変えて日常の中の良いことや、今からできる何かを見つけてみて下さい。